

平成21年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	トンガ王国
2. 事業名	トンガ王国における学校歯科保健活動向上の為のプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	JICAの草の根技術協力事業「トンガ王国における歯科保健の為のプロジェクト」を2009年3月に実施終了した。う蝕予防対策を中心としたマリマリ（笑顔を意味する現地語）プログラムを通じて小学校を中心にフッ化物応用と歯科保健指導に重点をおき活動し、担い手としてトンガ保健省歯科室に予防歯科チームを立ち上げ、トンガ全域に広がった。急速な拡大のため歯科スタッフのマンパワー不足による活動の不確実さと、器材・薬剤の調達の課題等の問題点が見られる。実施した小学校での歯科健診から、う蝕罹患率や永久歯う蝕経験歯数の激減が認められたがなお低学年では乳歯のう蝕が多い。これらを鑑み新たな担い手の育成と関係者の能力向上を計るため、歯科保健マニュアル、教材を作成を行い、また作成されたマニュアル、教材を活用する事により関係者が積極的に関与し乳歯う蝕の軽減をし器材、薬剤調達ができるよう向上する必要がある。
4. 事業の目的	学校歯科保健活動プログラムの向上
5. 対象地域	トンガタプ本島・ババウ諸島・ハーパイ諸島・エウア島
6. 受益者層（ターゲットグループ）	保健省歯科スタッフ、教員、保護者、小学校児童、幼稚園児
7. 活動（期待される成果及び指標）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科保健教育マニュアル、教材の作成 <ol style="list-style-type: none"> 1-1) 歯科スタッフ用マニュアルの作成 1-2) 教員・児童・園児・保護者用教材の作成 1-3) 試作されたマニュアル、教材を活用しプログラムを実施 1-4) 試用したマニュアル、教材を見直し 1-5) マニュアル、教材を印刷し最終版を完成 2. 人材育成 <ol style="list-style-type: none"> 2-1) 歯科スタッフの能力が向上 2-2) 指導教員の能力が向上 2-3) 教員の能力が向上 3. 対象施設で学校歯科保健プログラムが実施 <ol style="list-style-type: none"> 3-1) 教員は児童・園児に対し歯科保健教育(マリマリプログラム)を実施 3-2) 教員は保護者会で歯科保健健康教育を実施 3-3) 教員は作成した教材にある連絡帳で児童・園児の口腔の健康状態を保護者に伝える 3-4) 指導教員はマリマリプログラムの進捗状況をチェックする
8. 実施期間	平成21年11月～24年3月（2年5ヵ月間）
9. 事業費総額	14,900千円
10. 事業の実施体制	トンガ保健省及びバイオラ病院歯科室及び予防歯科チーム・トンガ教育省及び幼稚園、小学校の教師とともに事業実施。 学校歯科保健プログラム向上の為には歯科保健の担い手であるトンガ保健省及び歯科室が専門家として主体的に係わるが実施主体は予防歯科チーム。対象となる幼稚園児、小学校児童の教育は教育省の管轄下であり、対象者を教育する立場にいるのは幼稚園、小学校の教師である。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	南太平洋医療隊
2. 活動内容	南太平洋医療隊は1998年に設立され、南太平洋地域におけるボランティア活動を通して、相手国の歯科医療の向上と、民間レベルの文化交流を目的とする。

